

株式会社 日本スペリア社

めざすは世界標準！

独自の『鉛フリーはんだ』で

世界24カ国地域の特許を取得

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイジンジャパン 試作可小ロット 量産対応



高性能・高品質で、環境にも配慮した“鉛フリーはんだ”『SN100C』商品群
(錫-銅-ニッケル+ゲルマニウム組成)

頭脳拠点『R&Dセンター』で 多様なニーズに応える



研究開発、営業技術、品質保証の三部門を集約した同社の頭脳拠点「R&Dセンター」

エレクトロニクス製品に組み込まれる電子部品の実装に不可欠なはんだ材料や、家電などの配管接合に用いるろう材など、金属接合材料を提供している日本スペリア社。特に、はんだのエキスパートとして独自に開発した鉛フリーはんだ『SN100C』は今、世界標準になる勢いで採用が進んでいる。

世界24カ国地域に特許を保有する同社は、2010年に特許庁から産業財産権制度を有効活用した企業として『知財功労賞』を受賞した。製品の研究開発と特許取得、そして自社製品普及のための海外企業へのライセンス供与が、積極的な知財戦略として評価された。

そんな同社の頭脳とも言える『R&Dセンター』が2010年10月に完成。延床面積約2030㎡を有するこの研究所に、『研究開発』『営業技術』『品質保証』の三部門を集約した。「顧客の多様なニーズに応えるためには、高度な技術と設備を備えた拠点が不可欠です。同センターは研究開発部門としてはもちろん、顧客

五感をフル活用して 「はやり・やすい・うまい」を実現

への技術サポートをする、はんだ付けの総合病院としても機能します。また、当社の研究活動は、海外の大学との共同研究など学術的領域にも及んでいますので、同センターは今後ますます重要」と西村社長。既に世界8カ国地域に営業拠点をもち同社だが、研究活動においてもグローバル化を進めている。

「なんでも観察する力を養う事がとても大切。そのために五感を磨くこと」。これが西村社長の大切にしているポイントだ。全ては自然のものから生まれる。見えやすいものと見えにくいものがあるが、生活の中の事象をよく観察することが、さまざまなアイデアへと繋がる。それが、良い製品を生み出し、販路を開き、世界を広げると思えるからだ。そんな、五感をフル活用する感性が、同社の企業DNAとなっているようだ。

営業方針のキーワードは「はやり・やすい・うまい」。その意味は、「わかりやすく(易い)、納得を得られるものを(旨い)、スピーディーに(早い)提供すること」だという。そして三つの中で最も重要なのが「うまい」。五感で言えば、「味覚」だ。顧客の主観に左右されるこの感覚で納得を得て、初めて顧客満足を実現できたと言える。そのためには、製品品質だけでなく、あらゆる角度から顧客の要求を知ることが必要だという。今後はニーズに応えて『SN100C』の応用範囲をさらに広げるとともに、新製品開発にも拍車をかける。

研究開発、知財、そして営業と、独自の発想力で輝く同社に、内外から注目と期待が集まっている。

Company Profile

株式会社日本スペリア社

ISO 14001 ISO 9001 大阪22

住所 〒564-0063
吹田市江坂町1-16-15 NSビル
TEL 06-6380-1121
FAX 06-6380-1262
創業 昭和41年5月1日
資本金 9,000万円
従業員 98名
代表取締役社長 西村 哲郎

■主な事業内容
金属接合材料(はんだ・フラックス・ろう材)の製造販売、非鉄金属地金の販売

■主な取引先
家電メーカー、精密電子機器メーカー等

<http://www.nihonsuperior.co.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

「安心・信頼・誠実」をモットーに
「はやり・やすい・うまい」
をご提供いたします

代表取締役社長 西村 哲郎 さん



はやり(早い)=待たせない、やすい(易い)=わかりやすい、うまい(旨い)=納得を得ることを心がけ、高度化・多様化するお客様のニーズに常にお応えできるよう、『R&Dセンター』も設置し、更なるサービス向上をめざしています。